

令和4年度 学校評価シート

学校名： 和歌山県立田辺中学校

校長名：西 嶋 淳

めざす学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

- ・「郷土から未来に発信できる人間の育成」をめざした中高一貫教育
- ・確かな理数の学力、豊富な体験、幅広い人間性をもとに文武両道をめざす生徒

学校評価の公表方法

- ・保護者への学校アンケートを実施し、「学校だより」等で自己評価及び学校関係者評価の結果を知らせる。
- ・ホームページ等で公表する。

現状・進捗度	A	十分に達成している。（80%以上）
	B	概ね達成している。（60%以上）
	C	あまり十分でない。（40%以上）
	D	不十分である。（40%未満）

自己評価（分析、計画、取組、評価）

番号	計画・取組			評価（3月24日現在）			
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗	進捗状況	今後の改善方策
1	・ICT機器も効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びを実現する授業を創造し、学力（特に活用面）を向上させる。 ・補充学習や個別指導等を適切に行い、生徒一人一人の課題に対応する。	B	研究主任を中心に、研究授業（各自1回以上）及び研究協議を計画的に実施する。	研究授業の実施状況と事後の協議内容 授業の肯定的評価 90%以上	B	全員が研究授業に取り組み、ICT機器の効果的活用の在り方の研究も進んだ。授業の肯定的評価は各学年とも90%以上であった。	全員が研究授業に取り組むことを継続し、学校全体の授業力向上に努めるとともに、学習の個別最適化への研究及び実践を進める。 また、将来必要とされる資質や能力について共通理解を深め、その伸張のために地域と連携した教育活動の更なる充実に取り組む。
			地域の教育資源を活用する探究学習を重視して取り組む。	地域と連携した取組の実施状況と事後評価アンケート	A	事前打合せの内容を充実させ、新しい取組も含め目的に沿った探究活動を創造した。	
			特別補習を計画的に実施する。学力補充が必要な生徒にはスタディサプリを効果的に用いた個別指導を充実する。	夏季休業中の補習実施状況 スタディサプリを活用した学力の定着状況	B	夏季休業中の補習は各教科とも複数回実施できた。スタディサプリの効果的な活用には課題を残した。	
2	・「将来の自己実現の基盤を築く」という視点から各学年の体験活動を工夫し、豊かたくましい生徒の育成を図る。 ・将来の進路選択に結びつく取組を充実させ、自ら考え行動する態度の育成を図る。	B	主体的に課題を見つけ、より良い方法を選択して解決に取り組む学習活動を計画・実施する。	体験学習等の実施状況 生徒アンケートの結果	B	社会的課題を理解し、その解決に主体的に取り組む体験学習を実施できた。	社会的課題の解決に取り組む体験学習を充実させ、日々の学習との関連付けを強め、学ぶ意義への実感を高める。 また、生徒会活動の充実に取り組み、学校作りへの主体性を向上させることで、自主性や自己肯定感の向上に努める。
			生徒会活動等の活性化を図り、生徒の主体性を育む。	体育祭等のキャリアパスポートの内容や中高合同行事の実施状況	A	去年に引き続き中学校単独で体育祭を開催し、主体的に考え行動する姿勢が向上した。	
			中高や地域の教育資源との連携を重視してキャリア教育を充実させる。	生徒の感想文やキャリアパスポート等の内容	A	たなべ未来塾と連携し、地域の課題解決への視点を通して進路への関心を高めた。感想文等からも目標の達成が判断できる。	
3	・生徒一人一人の個性を生かし、自己理解を深めていくとともに、自主性、協調性、責任感等、社会で必要とされる資質の育成を図る。 ・科学的・合理的なものの見方や考え方を身につけ、確かな人権意識を培うとともに、集団や社会の一員として、より良い生活を築こうとする実践的な生徒の育成を図る。	A	道徳の時間を要として、心の教育を充実させ、規範意識や人権尊重の態度を育成する。	道徳の時間の学習状況 ポートフォリオの内容	B	研究授業の機会を設け、学校全体の授業力向上に努めた。	「考える道徳」、「議論する道徳」について授業研究を継続し、生徒の道徳心を育むとともに、人権教育の充実にも努め、より良い社会を築く資質を育てる。 またモラル講演会や定期的な交通安全指導等により、安心・安全への意識を高めさせる。
			計画的な教育相談と実態調査により、いじめ・不登校等の未然防止と早期発見・解消を組織的に進める。	生徒アンケートの結果 いじめ解消率 100% 家庭や関係機関との連携	B	SC・SSW や家庭と連携して取り組み、状況の改善に努めた。いじめの解消率は100%であった。	
			情報モラル講演会等、全校で学ぶ機会の設定と日々の学級での生活指導を継続する。	講演会の実施状況 生徒の生活態度の状況 保護者アンケートの結果	A	講演会や授業等を通して、情報モラルへの啓発に努めた。保護者アンケートの結果からも目標の達成が判断できる。	

学校関係者評価（2月14日実施）

<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭等の行事が再開できたことは、生徒の学校生活への満足度に良い影響があったと思う。 ・社会との接点を持つ学習が、生徒のコミュニケーション能力等の向上に役立っていると考える。 ・人生において重要な時間を過ごす学校が、生徒達にとっても地域にとっても期待に応えるものであってほしい。 ・主体的に社会で活躍できる能力の育成が求められており、取組を通じた生徒の成長を適切に評価できることが重要になる。 ・教育は人づくりであり、地元を離れても地元を愛し、地元に貢献しようとする意識や態度の育成に努めることを期待する。
--

